

国語科（2年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	題材名	主な学習内容・目標
一 学 期	4	見えないだけ アイスプラネット	<ul style="list-style-type: none"> ・気持ちが伝わるように朗読する。 ・登場人物の言動や心情を表す表現に注意して作品を読み取る。
	5	問いを立てながら聞く 枕草子	<ul style="list-style-type: none"> ・話し手の意見とその根拠を、問いを立てながら聞く。 ・作者の四季に対するものの見方や感じ方に触れ、自分が感じる四季を表現する。
		思考の視覚化 多様な方法で情報を集めよう 熟語の構成 クマゼミの増加の原因を探る	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を視覚的に整理する方法を理解する。 ・多様な方法で情報を集め、自分の考えをまとめる方法を学ぶ。 ・熟語の構成について学び、漢字に関する知識を深める。 ・文章全体と部分の関係や、文章と図表の関係に注意して読み、文書の構成や展開について理解を深める。
		具体と抽象	<ul style="list-style-type: none"> ・具体と抽象について知識を深める。
	6	魅力的な提案をしよう 単語をどう分ける？（文法①） メディアを比べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・聞き手を意識してわかりやすく説明する方法を学ぶ。 ・自立語（活用する自立語、活用しない自立語）を学ぶ。 ・身の回りにあるメディアを比べて、特徴を理解する。
		短歌に親しむ・短歌を味わう	<ul style="list-style-type: none"> ・短歌の世界を楽しみ、想像力を働かせ、自分の考えを持つ。
	7	言葉の力 類義語・対義語・多義語 言葉を比べよう	<ul style="list-style-type: none"> ・筆者の考えを読み取り、自分の考えを深める。 ・類義語・対義語・多義語について学ぶ。 ・言葉を分類したり、類義語を集めたり比べたりすることで語感を豊かにする。
		読書を楽しむ 盆土産	<ul style="list-style-type: none"> ・読書生活を豊かにするための活動を実践し発表し合う。 ・登場人物の描写に注意し、人柄や心情を読み取る。作品に描かれている優しさ等を読み味わう。
		8	字のない葉書
	9	聞き上手になろう 表現を工夫して書こう・表現の効果を考える	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の思いや考えを引き出すインタビューを考え実践する。 ・相手や目的に応じて文章を推敲する。
10		敬語 同じ訓・同じ音を持つ漢字	<ul style="list-style-type: none"> ・敬語の働きを学ぶ。漢字の使い分けを理解する。 ・同じ訓を持つ漢字の意味や、文脈での使い分けを知り、同音異義語の使い分けを理解する。

二 学 期	10	モアイは語る-地球の未来 根拠の吟味・根拠の適切さを考 えて書こう 異なる立場から考える	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠となる事実を確かめ、文章の構成や表現の仕方をとらえる。筆者の主張を読み取る。 ・根拠の適切さを吟味し、自分の意見が効果的に伝わる文章を書く。 ・集められた事実を根拠に、賛成・反対の立場を想定する。
	11	月夜の浜辺 平家物語(冒頭)扇の的 「平家物語」から 仁和寺にある法師「徒然草」から 漢詩の風景	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉の響きやリズムを味わいながら朗読する。 ・音読し、古文の言葉や響きに親しむ。古典に描かれたものの見方や考え方に触れる。 ・古典に登場する人物の特徴を捉えて論じる。 ・漢詩の季節・情景。作者の心情を読み味わう。
	12	君は「最後の晩餐」を知っている か 魅力を効果的に伝えよう 書写(行書)	<ul style="list-style-type: none"> ・観点を明確にして文章を比較し、構成や表現の特徴を考える。 ・観点を明確にして作品を鑑賞し、魅力を伝える文章を書く。 ・行書の特徴をとらえ、筆脈・筆遣いを学ぶ。
	1	走る。走らない。走ろうよ。 (文法②)	<ul style="list-style-type: none"> ・用言の活用(動詞の活用、形容詞・形容動詞の活用)を学ぶ。
	2	走れメロス 一字違いで大違い(文法③) 構成や展開を工夫して書こう 話し言葉と書き言葉 送り仮名 木 国語の学びを振り返ろう	<ul style="list-style-type: none"> ・描写や会話に着目しながら登場人物の人物像の変化を読み味わう。 ・付属語の種類(助詞・助動詞)について学ぶ。 ・文章の構成や展開を明確にしなが文章を書く。 ・話し言葉と書き言葉の特徴を理解し、実査のコミュニケーションに生かす。 ・送り仮名の付け方の原則と、例外の理解を深める。 ・作者のものの見方を捉え、自分の考えを広げる。 ・国語学習や他教科の学習活動に生かせる言葉の力を確認し、課題解決の手がかりに活用する。
		漢字の学習 タブレットドリル	<ul style="list-style-type: none"> ・新出漢字を練習し、意味・使い方を覚える。同じ訓・同じ音をもつ漢字、送り仮名について学ぶ。

【評価の観点と趣旨、場面】

観 点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣 旨	社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉がもつ価値を認識しようとしているとともに、言語感覚を豊かにし、言葉を適切に使おうとしている。
場 面	授業の取組、定期考査、小テスト、課題、発言・発表、朝学習	授業の取組、定期考査、小テスト、振り返り、課題、レポート、作文、発言・発表、話し合い活動	授業の取組、振り返り、課題、課題への取り組み、発言・発表、話し合い活動

社会科（2年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月		単元名	教材名・主な学習内容	
一学期	4	地理	第3部2章 日本の地域的特色	<ul style="list-style-type: none"> 日本の国土の位置，世界各地との時差，領域の特色と変化，地域区分などを取り上げ，日本の地域構成を大観する。 世界的視野や日本全体の視野から見た日本の地域的特色を取り上げる。 	
	5	歴史	第4部3章 武士による支配の完成	<ul style="list-style-type: none"> 江戸幕府が全国支配を完成する様子を理解する。 江戸時代の社会がどのように変化したのかを理解する。 	
	6		第4部4章 天下泰平の世の中 第4部5章 社会の変化と幕府の対策		
	7	地理	3章—1節 九州地方	<ul style="list-style-type: none"> 九州地方について，自然環境を中核とした考察を基にして地域的特色を捉える。 中国・四国地方について，他地域との結び付きを中核とした考察を基にして地域的特色を捉える。 近畿地方について，環境保全を中核とした考察を基にして地域的特色を捉える。 中部地方について，産業を中核とした考察を基にして地域的特色を捉える。 	
	8		3章—2節 中国・四国地方		
9	3章—3節 近畿地方 3章—4節 中部地方				
10	歴史	第5部1章 欧米諸国における「近代化」 第5部2章 開国と幕府の終わり	<ul style="list-style-type: none"> 市民革命や産業革命の背景と世界情勢が変化していった様子を理解し，欧米諸国のアジア進出を関連させる。 江戸幕府の滅亡と明治新政府の諸改革の特色を考え，近代国家の基礎が整えられたことを理解する。 		
二学期	11		第5部3章 新しい価値観のもとで 第5部4章 近代国家への歩み	<ul style="list-style-type: none"> 自由民権運動から大日本帝国憲法の制定，議会政治がどのようにして始まったかを理解する。 	
	12	地理	3章—5節 関東地方 3章—6節 東北地方 3章—7節 北海道地方	<ul style="list-style-type: none"> 関東地方について，人口や都市を中核とした考察を基にして地域的特色を捉える。 北海道地方について，歴史的背景を中核とした考察を基にして地域的特色を捉える。 身近な地域における諸事象を取り上げ，観察や調査などを行い，地理的なまとめ方や発表の方法の基礎を身に付ける。 	
	1		歴史	第5部5章 帝国主義と日本	<ul style="list-style-type: none"> 日清・日露戦争を通して，日本を取り巻く欧米諸国や朝鮮・中国との関係をまとめる。 日本の発展と同時に社会問題が発生したことを理解する。 世界の動きと日本との関連を踏まえて，大戦がその後の世界情勢または日本に影響があったことを理解する。
	2			第5部6章 アジアの強国の光と影	
	3	歴史	第6部1章 第一次世界大戦と民族独立の動き	<ul style="list-style-type: none"> 第一次世界大戦後の国際協調と民族自決，日本における政党政治の始まりについて理解する。 	
		地理	4章 身近な地域の調査 ◎評価と予備		

【評価の観点と趣旨，場面】

評価の 観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	我が国の国土と歴史，現代の政治，経済，国際関係等に関して理解しているとともに，調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	社会的事象の意味や意義，特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり，社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり，思考・判断したことを説明したり，それらを基に議論したりしている。	社会的事象について，国家及び社会の担い手として，よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。
場面	定期考査 授業での発言内容 課題の取組内容 レポートの内容 朝学習	定期考査 授業での発言内容 課題の取組内容 レポートの作成，発表	授業の取組（挙手，発言，態度） 振り返り，ノートの記述内容 課題の取組

数学（2年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	1章 式の計算 1節 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・多項式のいろいろな計算をする。 ・文字を用いた式を利用して、整数の性質を説明する。
	5	2節 文字式の利用	
	6	2章 連立方程式 1節 連立方程式とその解き方 2節 連立方程式の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式を適当な方法で解く。 ・$A=B=C$の形をした連立方程式を解く。 ・具体的な問題を、連立方程式を用いて解くときの考え方の手順を知る。
	7	3章 1次関数 1節 1次関数 2節 1次関数の性質と調べ方 3節 2元1次方程式と1次関数	
9	4節 1次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・一次関数における表、式、グラフの関係を知る。 ・グラフの切片や傾きを読み取って直線の式を求める。 ・二元一次方程式のグラフを、点を多く取ってかく。 ・図形の边上を点が動いてできる図形の面積の変化の様子を、式やグラフで表す。 ・連立方程式の解をグラフから求める。 ・グラフの交点の座標を、連立方程式を解いて求める。 	
二学期	10	4章 平行と合同 1節 説明の仕組み	<ul style="list-style-type: none"> ・多角形の内角や外角の大きさを求める。 ・平行線の性質を利用して、角の大きさを求める。 ・証明の意味を知る。 ・三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明する。
	11	2節 平行線と角 3節 合同な図形	
	12	5章 三角形と四角形 1節 三角形 2節 平行四辺形	
	1		<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形になるための条件を利用して、図形の性質を証明する。 ・直角三角形の合同条件を利用して、図形の性質を証明する。 ・平行四辺形の性質を用いて図形の性質を証明する。 ・平行四辺形になるための条件を利用して、図形の性質を証明する。
	2	6章 確率 1節 確率 2節 確率による説明	<ul style="list-style-type: none"> ・起こりうる場合を、表や樹形図を利用して全部あげ、確率を求める。 ・いろいろな確率の求め方を知る。
	3	7章 データの比較 1節 四分位範囲と箱ひげ図	<ul style="list-style-type: none"> ・四分位数を理解し、箱ひげ図を作成する。

【評価の観点と趣旨、場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・数量や図形などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を活用して事象を論理的に考察する力、数量や図形などの性質を見だし統一的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていたりしている。
場面	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・レポート ・朝学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・単元テスト ・レポート ・話し合い活動 ・朝学習 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への取組 ・提出物 ・振り返りカード ・授業中の発言

理科（2年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	1 化学変化と原子・分子	<ul style="list-style-type: none"> ・化学変化についての観察・実験を通して、化合、分解などにおける物質の変化や量的な関係について理解する。 ・化学変化の事象を原子・分子のモデルと関連づけて考える。 ・物質のなり立ちや化学変化のしくみが実生活でどのように利用されているかを理解し、科学への興味・関心を高める。 ・生物のからだは細胞からできていることを、観察を通して理解する。 ・光合成や呼吸、水の通り道などの植物のからだのつくりや働きを理解する。 ・動物の消化や吸収、血液の循環などの動物のからだのつくりと働きを理解する。 ・動物が外界の刺激に適切に反応している様子の観察を行い、その仕組みをそれぞれの器官と関連づけて理解する。
		1章 物質のなり立ち	
	5	2章 物質どうしの化学変化	
		3章 酸素がかかわる化学変化	
	6	4章 化学変化と物質の質量	
		5章 化学変化とその利用	
二学期	7	2 動物の生活と生物の変遷	
		1章 生物と細胞	
	9	2章 植物のからだのつくりとはたらき	
		3章 動物のからだのつくりとはたらき	
	10	4章 刺激と反応	
		3 天気とその変化	
	11	1章 気象の観測	
		2章 雲のでき方と前線	
	3章 大気の動きと日本の天気		
	1	4 電気の世界	
		1章 静電気と電流	
	2	2章 電流の性質	
	3	3章 電流と磁界	

【評価の観点と趣旨、場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についての基本的な原理や法則などを理解している。 ・観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象から問題を見だし、見通しを持って観察、実験などを行い、得られた結果を分析、解釈、表現するなど科学的に探究している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象に進んで関わり、見通しを持ったり、振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。

場面	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実験, 観察レポート ・小テスト ・パフォーマンステスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期考査 ・実験, 観察レポート ・小テスト ・発表や話し合い活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への取組 ・実験・観察レポートの作成 ・授業の振り返り ・授業中の発言内容 ・課題への取組 ・朝学習への取組
----	--	---	--

英 語 科（2年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容	
1 学 期	4	Unit 0 My Spring Vacation	<ul style="list-style-type: none"> ・ 思い出を相手に伝え、自分が経験したことを話す ・ 前学年の復習（there is / 過去進行形/be 動詞過去） 	
		Unit 1 A Trip to Singapore	<ul style="list-style-type: none"> ・ 旅行の楽しさと海外の文化や言語について考える ・ 休暇や週末の予定のやりとり ・ be going to / will / SVOO / SVOC（名詞） 	
	5	Let's talk 1 ホテルでのトラブル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 苦情や謝罪を言う 	
		Grammar for Communication 1 Learning HOME ECONOMICS in English	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5つの文構造の形・意味・用法を整理し、理解を確かめる 	
		6	Let's listen 1 機内放送 Unit 2 Food Travels around the World	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機内放送を聞き、必要な情報を聞き取る ・ 好きな食べ物やその理由について、紹介文を書く ・ 接続詞（when / if / that / because）
			Let's Talk 2 ていねいなお願い	<ul style="list-style-type: none"> ・ 許可を求めたり、依頼する
	7	Grammar for Communication 2	<ul style="list-style-type: none"> ・ 接続詞の復習 	
		学び方コーナー 1	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音とつづりと意味について知る 	
		Let's listen 2 インタビュー Unit 3 My Future Job	<ul style="list-style-type: none"> ・ これからの社会を想像し、自分の将来像や夢について考える ・ to 不定詞（副詞的用法・形容詞的用法・It is …to do） 	
		Let's Write 1 留守番電話のメッセージへの返信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 留守番電話のメッセージを聞いて内容を理解し、相手に返信メールを書く 	
		Grammar For Communication 3 Learning TECHNOLOGY in English	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報技術の活用の仕方を考えるために、その機能について長所・短所を整理してまとめ、考えをやりとりをする 	

	8	Stage Activity 1 A message to Myself in the Future	・好きなことや得意なことについて話し合う
	9	Let's Read 1 History of Clocks Let's Listen 3 天気予報 Unit 4 Homestay in the United States	・説明文を読み、時計についての歴史を読み取り、説明する ・天気予報を聞き取る ・日米の生活習慣や文化の違いを知る ・習慣やマナーを伝える ・have to / don't have to / must / must not / 動名詞（目的語・主語）
2 学 期	1 0	Let's Write 2 ホームステイのお礼状 Grammar For Communication 学び方コーナー2 Let's Listen 4 電車の運行情報 Unit 5 Universal Design	・お世話になった人に、手紙で感謝の気持ちを伝える ・助動詞の復習 ・英語の文章を音読 ・運行情報を聞き、必要な情報を聞き取る ・だれもが使いやすいものや、暮らしやすい社会について考える ・身近なもの・ことについて、使い方ややり方を説明し、自分の考えを述べる ・(SV+疑問詞 to / SVO+疑問詞 to / be 形容詞 that)
	1 1	Let's Talk 3 電車の乗りかえ Let's Listen 5 留守番電話 Unit 6 Research Your Topic Let's Talk 4 買い物 Grammar For Communication 5	・乗り物での行き方をたずねる ・留守番電話を聞き、主な内容を理解する ・調査や発表の効果的なやり方について考える ・身近なことについて、特徴を比較しながら説明する ・(比較級・最上級・as...as) ・自分の好みや要望を伝えながら電話で用件を伝える ・比較表現の復習
	1 2	Stage Activity 2 Research and Presentation 学び方コーナー3 Let's Read 2 A Glass of Milk	・クラスで人気のあるものを調べて、その結果を発表する ・あるテーマについて自分の賛成や反対意見を述べる ・物語を読み、場面や登場人物の心情を朗読する
	1	Let's Listen 6 商品のコマーシャル Unit 7 World Heritage Sites	・商品のコマーシャルを聞き、商品の長を聞き取る ・世界遺産の特徴について知りその特別な価値について考える ・各地の世界遺産を紹介する（受け身）

	2	Let's talk 5 電話でのやりとり Grammar For Communication 6 Let's Listen 7 店内のアナウンス	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の好みや要望を伝えながら電話で要件を伝える ・受け身の復習 ・店内のアナウンスを聞き、イベントなどの情報を聞きとる
	3	Stage Activity 3 My Favorite Place in Our Town Let's Read 3 Pictures and Our Beautiful Planet	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の町のおすすめの場所について、相手にその場所の特徴やよい点を伝えることができる ・人物の伝記を読んで、内容を理解する

【評価の観点と趣旨，場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	英語の語彙や文法などの知識を、コミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けている。	実際のコミュニケーション場面において、英語で情報や考えを理解し、話したり書いたりして表現できる。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、主体的に英語を用いて学習課題に取り組もうとしている。
場面	授業中の学習活動，定期考査，単元テストなど	授業中の学習活動，定期考査，単元テスト，スピーキングテストなど	授業中の学習活動，ペアやグループでの活動，課題への取組状況など

音 楽 科 (2 年)

【 1 年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一 学 期	4	『合唱の喜び』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌う姿勢や発声について理解する。 ・ 言葉の意味や詩の内容を理解し、正確な音程で歌えるようにする。 ・ 曲の特徴を生かした表現を工夫する。 ・ 交響曲について知る。 ・ 楽曲の概要や作曲者について理解する。 ・ 作曲者やその作品について理解する。 ・ 言葉の意味や詩の内容を理解し、正確な音程で歌えるようにする。 ・ 曲想の変化をもたらす音楽を形づくっている要素を知覚しながら味わって聴く。
	5	・ 校歌・翼をください	
	6	・ 合唱曲	
	7		
	8	『鑑賞 オーケストラの音楽を味わおう』	
二 学 期	9	『日本の名曲を歌おう』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音楽の特徴や魅力について他の芸術との関わりを理解する。 ・ 言葉の意味や詩の内容を理解し、正確な音程で歌えるようにする。 ・ 日本語の持つリズムや抑揚と旋律との関わりを感じ取る。 ・ 歌詞や旋律にふさわしい表現を工夫する。
		・ 夏の思い出	
	10	『鑑賞 バロック時代の音楽を味わおう』	
		・ フーガト短調	
	10	『総合芸術を味わおう』	
	・ オペラ		
	11	『日本の音楽に親しもう』	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞や旋律にふさわしい表現を工夫する。
	・ 荒城の月		
	12	『日本の伝統文化を知ろう』	
	1	・ 勸進帳	
	2	・ 箏の演奏	
	3	『合唱 旋律の重なりを感じ歌おう』(3年生を送る会合唱他)	

【評価の観点と趣旨、場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	・ 音楽の構造や音楽の多様性について理解したり、音楽表現したりするための技能を身に付けている。	・ 音楽をどのように表すかについて思いや意図を持ち、よさや美しさを味わって聴いたり表現したりしている。	・ 音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
場面	・ 授業中の学習活動 ・ 確認テスト ・ 実技テスト	・ 授業中の学習活動 ・ 課題への発想や記述 ・ 実技テスト	・ 授業中の学習活動 ・ グループでの活動 ・ 課題への取組状況など

美術科（2年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容	
一学期	4	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと対象を観察することを通して、よさや美しさを発見しようとする気持ちで制作する。 ・美術作品（印象派、キュビズム）の良さや美しさを学び作品制作に生かす。 ・主観的な気持ちを大切にし、それに応じた色彩の使用に幅と柔軟性を持たせる。 ・鑑賞会 	
	5	『絵画：静物画を描く』		
	6			
	7			
	8	『鑑賞：私が見つけた美しいもの』		
9				
10				
二学期	10	『工芸彫刻：篆刻』		<ul style="list-style-type: none"> ・石材を使い、印面部分と持ち手部分の形を工夫して制作する。 ・美術作品（彫刻、抽象美術）の良さや美しさを学び作品制作に生かす。 ・鑑賞会 ・完成した印を生かして、水墨画を制作する。
	11			
	12			
	1	『絵画：水墨画』		
	2			
	3			

【評価の観点と趣旨、場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	対象や事象をとらえる造形的な視点について理解している。 表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	造形的なよさや美しさ、表現の工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し、豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の幅広い学習活動に取り組もうとしている。
場面	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・プリント ・作品 ・鑑賞ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・アイデアスケッチ ・作品 ・鑑賞ワークシート 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習活動への取り組み ・制作カード ・準備物(モチーフを選ぶ, 資料を集める)

保健体育科（2年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	体づくり運動・集団行動 新体力テスト	<ul style="list-style-type: none"> ・体ほぐし運動や体力を高める運動 ・集団行動の行い方を学び、効率的に行動できるようになる。
	5	陸上（ハードル走） ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・目標タイム設定を行い、記録向上に取り組む。 ・基本的な用具操作を身に付ける。
	6	器械運動（マット・跳び箱）	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な技を滑らかに行うことができるようにする。跳び箱運動では、条件を変えた技や発展技ができるようにする。
	7	保健分野・水泳（クロール・	<ul style="list-style-type: none"> ・手と足の動き、呼吸のバランスを取り泳ぐことができる。 【保健】障害の防止【体育理論】運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全
	8	平泳ぎ）	
	9	運動会練習	
10	運動会練習		
二学期	11	バレー	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的なパスやサービスを使って簡易的なゲームで勝敗を競うことができるようにする。
	12	柔道・ダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・相手の動きに応じた基本動作から、基本となる技を用いて、相手を崩して投げたり、抑えたりするなどの攻防を展開できるようにする。 ・リズムの特徴を捉え、リズムに乗って全身で踊ることができるようにする。
	1	保健・体育理論 サッカー・バスケ	<ul style="list-style-type: none"> 【保健】健康な生活と疾病の予防【体育理論】運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全
	2	ソフトボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ボール操作と空間に走りこむなどの動きによって、ゴール前での攻防を展開できるようにする。 ・空いた場所をめぐる攻防をすることができるようにする。
	3	卓球・バドミントン	

【評価の観点と趣旨、場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の合理的な実践に関わる具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに実践しているとともに、運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。 ・個人生活における健康・安全について理解をし、基本的な技能を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫し、それらを他者に伝えている。 ・個人生活における健康に関する課題を見つけ、その解決を目指して思考し判断、工夫し、それらを他者に伝えている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、運動の合理的な実践に主体的に取り組もうとしている。 ・健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。
場面	技能テスト・試験・観察	学習プリント・発言・観察	出席・授業態度・観察

技術科（2年）

【1年間の学習の流れ】※3年間で全ての単元を学習する事になっています。

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	【生物育成の技術】 3. 生物育成の技術による問題解決	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の流れ ・生物育成の計画の立て方・実習 ・生物育成の技術の振り返り ・生物育成の技術と私たちの未来 ・生活や社会を支えるエネルギー変換の技術 ・身の回りにあるエネルギー変換の技術 ・エネルギーの利用・燃料を利用した技術 ・発電と送電のしくみ ・エネルギー変換効率と省エネルギー ・電気エネルギーの特徴 ・光や熱に変換する仕組み ・動力や音・信号に変換する仕組み ・電気回路と回路図 ・電気機器の安全な利用と保守点検 ・力の伝達・動きを変化させる仕組み ・力や運動を保存する仕組み ・部品の固定と共通部品 ・機器の保守点検
	5	4. これからの生物育成の技術	
	6	【エネルギー変換の技術】 1. 生活や社会とエネルギー変換の技術	
	7	2. エネルギー資源の利用	
	8	3. 電気の利用	
二学期	9	4. 運動の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・問題解決の流れ ・実習 ・エネルギー変換の技術と私たちの未来 ・生活や社会を支える情報の技術 ・身の回りにある情報の技術 ・コンピュータの構成、機能と装置 ・コンピュータ機器を自動で動かす仕組み ・プログラムの構成と表現 ・情報のデジタル化 ・デジタル情報の特徴 ・使いやすさを工夫した情報の表現 ・メディアを利用した情報の表現 ・情報通信ネットワークのしくみ ・Webのしくみと情報の表現
	10	5. エネルギー変換の技術による問題解決	
	11	6. これからのエネルギー変換の技術	
	12	【情報の技術】 1. 生活や社会と情報の技術 2 情報とコンピュータ	
	1	3. 情報の表現と伝達	
	2	4. 情報セキュリティと情報モラル	
	3		

【評価の観点と趣旨，場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から課題を見付け、課題を解決する力を身に付けている。	課題解決に主体的に取り組んだり、振り返ったりして、生活を工夫し想像し、実現しようとしている。
場面	<ul style="list-style-type: none"> ・作品，ワークシート，作業の様子 ・定期テスト <p style="text-align: center;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・レポート，ワークシート ・計画表 ・テスト <p style="text-align: center;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中の様子 ・準備物，提出物，ワークシート，まとめレポート ・テスト <p style="text-align: center;">など</p>

家庭科（2年）

【1年間の学習の流れ】

学期	月	単元名	教材名・主な学習内容
一学期	4	「衣生活の自立」 ・目的に応じた衣服の選択	・衣服の社会生活上のはたらきがわかる。 ・自分らしい着方を工夫することができる。
	5	・自分らしくコーディネート ・つなげよう和服の文化	・和服の文化に関心をもち、和服の着方を知る。 ・洋服と和服の構成や着方の違いを知る。
	6	・日常着の手入れ	・既製服の表示や日常的な手入れの仕方を知る。
	7	・生活を豊かにするものの製作	・製作に必要な材料や用具、製作手順、目的に合った縫い方などを習得する。
	8	手縫いの基礎	・手縫いの基礎を確認し、技術を身に高める。
	9	ミシンの使い方	・ミシンを使って製作ができる。
	10	製作	
二学期	11	ボタン付け、まつり縫い	・ボタン付けやまつり縫いができる。
	12	「住生活の自立」 ・住まいの役割	・住まいの基本的な働きを理解する。 ・健康に配慮した住まい方を考える。
	1	・家族の健康と室内環境 ・家庭内の安全	・家族の安全を考えた住まい方を考える。 ・災害への備えや工夫を考える。
	2	・災害への備え ・地域に配慮した住まい方	・住まい方が地域に及ぼす影響が分かり、住まい方を工夫できる。
	3	「生活の課題と実践」課題学習 「身近な消費生活と環境」 ・家庭生活と消費 ・商品の選択と購入 ・よりよい消費生活のために ・環境に配慮した消費生活	・生活から解決したい課題に取り組み、発表する。 ・消費生活のしくみを知る。 ・契約の意味を知り、販売方法と支払い方法を知る。 ・悪質商法や消費者トラブルの例と解決策を知る。 ・環境に配慮した生活行動について、自分の生活に生かせるように具体的に考える。
		「学習のまとめ」	・2年生の学習を振り返る。

【評価の観点と趣旨、場面】

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に取り組む態度
趣旨	生活と技術について理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し想像し、実現しようとしている。
場面	授業中の学習活動、定期考査、作業の過程、作品の仕上がりなど	授業中の学習活動、定期考査、作業の過程、課題の発表など	授業中の学習活動、話し合い活動、課題や作業への取組状況など